



# 同窓会会報

発行：獨協埼玉高等学校同窓会 発行人：玉山 栄一  
〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316  
☎048-977-5441 FAX048-977-2031  
e-mail: dosokai@dokkyo-saitama.ed.jp  
URL http://www.dokkyo-saitama.ed.jp/



## 進路指導部より

### 「獨協コース」紹介

獨協大学への進学を希望する生徒が、高大連携のカリキュラムのもと教養を身につける「獨協コース」が4年前に高校3年生の新しいコースとして設置されました。その「獨協コース」について、進路指導部主任の手塚先生にお話を伺いました。

#### 1 獨協コース設置の趣旨を教えてください。

併設校への推薦を強く希望している生徒に対して、受験勉強とは異なる教養を身につけて大学へ入学し、併設校のメリットを活かし、高大連携を図る目的で設置したクラスです。今年度で4年目を迎えました。

#### 1 獨協コースの授業の特色について教えてください。

「国語研究」では日本語にまつわる諸問題について、レポート作成やグループ討議を行い、大学進学への基礎固めを行います。また、「地歴演習」では葉書エイズなど実際にあった事例を取り上げ、ディスカッションを行うなど、他のクラスではできない授業に取り組んでいます。

#### 2 該当学部・学科について教えてください。

外国語学部(ドイツ語学科・フランス語学科)、国際教養学部(言語文化学科)、経済学部(経済学科・経営学科)の3学部5学科です。

#### 5 獨協クラスへ期待していることを教えてください。

#### 3 どのような推薦条件になつていくのですか。

経済学部以外は成績基準があります。その他、出欠席条件、読書課題(年間30冊以上)、卒業論文(1万6000字以上)等の課題をクリアする事で該当学部への入学資格を得られます。

受験とは異なる教養を身につけた生徒の入学を大学は期待しています。具体的には思考力・判断力・表現力などです。そのため多くの読書や、テーマ学習などでそれらを身につけることとなります。この制度は、高校生活を余裕を持って、充実したものにするために導入しようとしたものです。クラブ・委員会活動などに積極的に参加をし、学校生活の充実を図ってくださることを期待しています。

## 獨協コース 4年目を 迎えて

獨協コースも4年目を迎えました。このコースは獨協大学の先生方、大学教務の方々、入試課、高校の諸先生方、多くの方々の厚意に支えられて成り立っております。そもそも獨協コース設立の背景には獨協学園に存在する天野博士の教えが底流にあり、「詰め込み式の教育」では計れない学力を育てるという目標があります。

TOEICの講座や授業、独自の外国語教育さらには国語研究や地歴研究など研究授業、討論を通して混迷する社会を乗り越える力を養う特色豊かなコースです。その為、授業は勿論のこと卒業論文読書課題クラブ活動や文化祭での演劇など様々な活動を行っております。

本コースには、毎年そして日々新しい発見や驚きを感じさせてくれる素敵な生徒たちがたくさんいます！獨協埼玉中学高等学校の良さである全人教育を体現したようなクラスであると思いい、3年目の担任としても全力でこのクラスの生徒たちと共に学んでいる日々です。今年度は、体育祭が1学期に移る中、準備が大変でしたがクラスで「丸」となって取り組みました。獨協コース毎年恒例の文化祭公演で、昨年までのギリシア悲劇から新しい主題に取り組んでおります。台本や脚本、衣装、音響照明など全てクラスで協力し創りあげて「ジュリアスシーザー」を通して私たちの思いを伝えることができたらと思いい、クラス全員で頑張っておりますので是非見にいらして下さい。

(獨協コース担任/曾我部農生)



## 「極端になる」



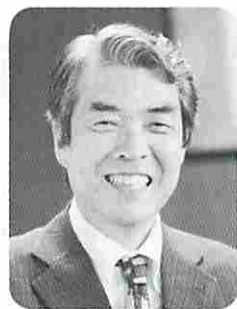
同窓会長  
玉山 栄一

私がか、必要だと思えることがあります。それは「極端になる」つまり突き抜けたオリジナリティを持つということです。世の中選ばれるものと、選ばれないものがありますが、得てして人は選ばれるものになります。しかし、そんな安易な考え方でこの時代を勝ち抜いていくことができるのでしょうか。人と違う事をして、周囲から無謀だと言われ、時には自分に逆風が吹いたとしても、とことん「極端」にやっつて誰にも真似できないものを作り出した時、自分にしかない新しい世界が見えてくるのだと思います。

加えて、もう一つ大事なことを言わなければなりません。それは「極端」の裏には強固な「基礎」があるということです。ピカソの絵で例えると、ピカソの作品は、現代では奇をてらった突飛なものという印象が強いですが、若い頃は写真と見間違えような精緻なデッサンをたくさん描いていたそうです。そして、歳を重ねるうちに作風が変化していき、大きく飛躍しました。斬新なものを作ったり、何かを革新したりしても、「基礎」を徹底的に鍛えなければ道は開けないという良い例だと思います。世の中が飽和状態の中、いかに人と違った「極端」なことをするかの。そのために「基礎」を極め、さらに獨協埼玉で培った「柔軟な想像力」で生き抜いて欲しいと思っています。

それでは、同窓会も今後一つ、「極端」な事でもしてみようかと(笑)みなさんの意見をお待ちしております。そして最後に、いつも同窓会活動への協力ありがとうございます。

## 国境なき医師団 河野暁子さん



校長  
柳町 道廣

校長としてのご挨拶の前に、今年に限っては先の東日本大震災で被災した多くの犠牲者に対し、お悔やみとお見舞いを申し上げなければなりません。また、同窓生の関係者に被害が及ばなかったことを祈っています。

さて、今回はある同窓生の活躍に言及します。私は、震災数日後、仙台空港の被害を報じるテレビニュースをみて驚きました。本校第6期生の河野暁子さんが「国境なき医師団」(MSF)のメンバーとして取材に応じていたからです。彼女は現在、臨床心理士としてMSFに参加し、2006年から2010年まで3回に亘ってバレスチナのナプルス、ヘアロン、そしてイエメンのワウル、ハラドへ派遣されて活躍しました。

先日久々に帰国したので、在学中の部活仲間4人娘(？)との会食で貴重な話しを聞くはずでしたが、急遽被災地へ派遣されることになり、残念ながら会うことができませんでした。彼女のこうした活躍は、本校の卒業生皆の誇りであり励みにもなりますね。

最後に彼女のコメント、「世界のつらい環境の中で生活している人たちの事を自分に置き換えられるような人になつて！」を紹介しておきます。

## 教頭就任にあたって



教頭  
村岡 健二

本年度から教頭になった村岡です。同窓会にはさまざまな面でお世話になっております。改めて御礼を申し上げます。

10年間あまり生徒募集の責任者をしていました。生徒募集上の必要性ということもありましたが、この4年間で「獨協大学の推薦制度」「高校2・3年次のカリキュラムの変更」「駿台サテネットの導入」等、時代の要請に応じた獨協埼玉独自の進学のあり方に力を注いできました。一人ひとりの生徒の目的に応じた進路を「現役」で実現させたいと考えたからです。結果はある程度伴ってきましたが、さらなる工夫をしていきたいと考えています。

また3月11日には大変な地震が起こりました。地域の再建、原子力発電所の問題もまだまだ解決の見通しがありません。こうした時代であるからこそ、学校として生徒たちにとのような力を付けさせることができるか、ということが問われていると思います。「自ら判断することのできる若者を育てる」ためにはどのような学力、行事、体験が必要であるのか、もう一度じっくりと考えていきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひします。

# 第14回 同窓会総会・懇親会開催

## 決算・予算報告

平成22年度 同窓会決算書		H22年4月1日～H23年3月31日	
<b>収入の部</b>		<b>支出の部</b>	
前年度繰越金	18,360,302	次年度繰越金	20,112,057
終身会費卒業生	3,350,000	総会費	576,565
終身会費既卒生	610,000	会報費	1,320,919
利息	2,564	幹事会費	30,000
懇親会収入	80,000	慶弔費(花束)	0
祝い金	20,000	卒業アルバム保管用	5,850
		卒業証書フォルダー	377,475
<b>合計</b>	<b>22,422,866</b>	<b>合計</b>	<b>22,422,866</b>

平成23年度 同窓会予算(案)			
<b>収入の部</b>		<b>支出の部</b>	
29期生終身会費	3,250,000	総会費	576,565
H22年度より繰越金		会報費	1,320,919
	20,112,057	幹事会費	30,000
預金利息	2,500	慶弔費(花束)	30,000
懇親会収入	70,000	卒業アルバム保管用	13,800
		企画費	500,000
		卒業証書入れ	400,000
		予備費	20,563,273
<b>合計</b>	<b>23,434,557</b>	<b>合計</b>	<b>23,434,557</b>

10年後が楽しみです。また、その後の懇親会では今年も多くの先生方にも参加していただき、昔話に花を咲かせていました。毎年行われている総会と懇親会、中学生や高校生のお子様を持つ卒業生も増えてきています。学校見学と兼ねて来年この機会に参加してみてください。

続いて22年度の事業報告と23年度の事業計画及び予算案が議案に上がり、承認されました。事業報告の中で、10年前の蛙鳴祭実行委員が埋めたタイムカプセルを開封するイベントに合わせて同窓会が協力する形で、在校生を対象にタイムカプセルの手紙を募集し、中庭の片隅に埋めたことの話がありました。

今年も暑い中6月25日(土)に第14回同窓会懇親会が開催されました。冒頭の玉山会長の挨拶では同窓会活動に理解と協力を訴え、卒業生の協力が不可欠であるということ、また来年度に向けて会則の見直しなども進めていく旨の話がありました。



今年も暑い中6月25日(土)に第14回同窓会懇親会が開催されました。冒頭の玉山会長の挨拶では同窓会活動に理解と協力を訴え、卒業生の協力が不可欠であるということ、また来年度に向けて会則の見直しなども進めていく旨の話がありました。

## 池の変遷



2001年



2004年



2011年

## せせらぎ



2010年



2011年

学校周辺の水路ではカエル・ザリガニ・ドジョウ・フナなど都市部では見ることができなくなった生物の宝庫でした。そして何より驚いたのは校内に植えてある何本かのクヌギの根元を掘り起し、カブトムシやクワガタムシの幼虫を探し出してきたことです。

学校周辺の水路ではカエル・ザリガニ・ドジョウ・フナなど都市部では見ることができなくなった生物の宝庫でした。そして何より驚いたのは校内に植えてある何本かのクヌギの根元を掘り起し、カブトムシやクワガタムシの幼虫を探し出してきたことです。

また、その後の懇親会では今年も多くの先生方にも参加していただき、昔話に花を咲かせていました。毎年行われている総会と懇親会、中学生や高校生のお子様を持つ卒業生も増えてきています。学校見学と兼ねて来年この機会に参加してみてください。

2001年、中学開校と同時に立ち上げた「サイエンスクラブ」の中学生達は高校生とは全く違う視点で校内を探検して回りました。中学のエントランスに植わっている栃の実を大量に拾い集め、栃餅を作ろうとしましたが、うわさ通りそのデンプンは非常に強い「えぐみ」があり、時間をかけてあく抜きをしているうちに周りからカビが生えて断念しました。

2010年柳町校長から「正門からピオトープまでを心が潤うようなスペースにできないだろうか」という提案があり、私自身の夢でもあった「虫が生息できる水辺」づくりに着手しました。実際の企画立案のほとんどは講師の中澤先生が中心となり、ボイラー室の浅井さんにも力を借りてスタートしました。もちろんサイエンス部員も生懸命参加してくれました。木の枠で囲ってあるのは本校で大量に出る落ち葉を「腐葉土」に変えるためのもので、ツインリンク茂木に学びました。また、今後は植えた様々な樹にネームプレートをかけ、ピオトープの案内板を作成する予定です。

余談ですが、中学駐車場のわずかなスペースを耕して「サイエンスファーム」を作っています。5月～6月にかけては雑草取りが大変なのですが、その分収穫の喜びは格別です。ジャガイモ、枝豆、サツマイモ、ソラマメなどを栽培収穫し、部員全員で味わっています。7月現在はサツマイモとトウモロコシが順調に育っており、花や実のつき方を知りたい中学生の授業材料になる日を知っています。

## 「部活動紹介」

# なつかしあの頃 第12回 サイエンスクラブ

そして、2004年、高校1年生になった彼らと相談し、「ピオトープ」をつくらうということになりました。全員で中学棟脇(現在の調理室前のスペース)を掘り始めましたが、瓦礫の山や下水や電気の配管に阻まれ、掘り上げた残土も野球場端の「調整池」まで運びました。これらの作業には延々1年がかかり、そのあともシートを張って水を入れるにはかなりの困難がありました。



理科室での活動風景

# 部・同好会 活動近況報告

## 高校男子テニス部

今年度は団体戦では県ベスト8(昨年度はベスト16)、そして個人戦では関東大会、インターハイ(全国大会)出場選手を輩出することができ、生徒もそうですが自分にとっても大変貴重な経験をさせていただきました。

インターハイはこれからですが、埼玉県として獨協埼玉高校生の代表として恥じないプレーを期待しています。

これからも今年度の記録に満足せず、上位の常連校として獨協埼玉高校の名が浸透するよう、常に上を目指して行きたいと思っています。

(顧問/酒井 直樹 7期生)

## 平成23年度 学校総合体育大会 結果報告

- 東部地区大会
  - 女子シングルス 優勝・7位
  - 男子ダブルス 準優勝
- 埼玉県大会
  - 男子シングルス 4位
  - (関東高等学校テニス大会出場決定)
  - 男子ダブルス ベスト32
  - 男子団体戦 ベスト8
  - (インターハイ予選出場決定)
- インターハイ予選
  - 男子シングルス 3位
  - (インターハイ出場決定)
  - 男子団体戦 ベスト8



## 高校女子テニス部

同窓生の皆さん、お元気ですか? 高校女子テニス部は、相変わらず熱く燃えていますよ。昨年度の大会結果をお知らせしながら、どのような取り組みをしているかお知らせしたいと思います。

- 新人大大会 東部地区予選
  - 女子シングルス(県大会出場者 5名)
  - 1年 石塚愛理/優勝(県ベスト16)
  - 2年 平田 彩/準優勝(県ベスト16)
  - 女子ダブルス(県大会出場者 3ペア)
  - 石塚・平田ペア/優勝(県ベスト32)
  - 多治見・高岡ペア/準優勝(県ベスト32)
- 新人大大会県予選 団体戦(県ベスト4入り)
- 東部地区団体戦 Aチーム/優勝 Bチーム/4位



## 2010年度の主な大会結果

- 学校総合体育大会 東部地区予選
  - 女子シングルス(県大会出場者 6名)
  - 1年 石塚愛理/優勝(県ベスト16)
  - 2年 平田 彩/準優勝(県ベスト32)
  - 女子ダブルス(県大会出場者 1ペア)
  - 石塚・平田ペア/準優勝(県ベスト32)
- 全国大会県予選 女子ダブルス(県ベスト16)
- 関東大会県予選 団体戦(県ベスト8入り)
- 全国大会県予選 団体戦(県ベスト8入り)

## 2011年度の大会結果

- 学校総合体育大会 東部地区予選
  - 女子シングルス(県大会出場者 6名)
  - 2年 石塚愛理/優勝(県ベスト16)
  - 3年 平田 彩/第4位(県ベスト32)
  - 女子ダブルス(県大会出場者 4ペア)
  - 多治見・高岡ペア/第4位
  - 石塚・平田ペア/第6位(県ベスト16入り)
- 全国大会県予選 女子ダブルス(県ベスト16)
- 関東大会県予選 団体戦(県ベスト8入り)
- 全国大会県予選 団体戦(県ベスト8入り)

以上が大会結果です。今年も県ベスト4入りを目指して応援歌を生懸命、声を枯らしながら部員全員が一九となって取り組みましたが、残念ながらベスト8で負けてしまいました。「不当の優しさとは? 本当の思いやりとは?」を探し続ける女子テニス部です。同窓生のテニス部の皆さん! 現役生徒達は、真つ黒になりながら熱く燃えていますよ!

(顧問/三国美智子)

## 中学校男子テニス部

中学男子テニス部は、獨協埼玉中学校開校年度に創部され、今年の部員総数は3学年で50名。月、水、金、土の4日間。約1時間30分コート(2面)やコンクリート駐車場等で活動しています。

隔年傾向ではあるが、今年には特に有力な部員がたくさん育ち、今年度の学総大会地区大会で、シングルス3位(3年、武智元二郎君)、ダブルス優勝(3年、武智君須貝聖也君)という成績を修めました。

同君たちに加えて宮原俊晴君(3年)の3名が県大会に出場し、武智君はシングルスベスト12位、武智君須貝君のダブルスは県3位という素晴らしい成績を挙げ、7月26日から東京有明で行われる関東大会に出場します。また、県大会団体戦でも善戦し、県3位という成績を修めました。

関東大会での武智君、須貝君の活躍に応援をお願いします。

(顧問/浅川 之雄)

## 中学校女子テニス部

中学女子硬式テニス部は、今年度で創立11年目になる部活です。現在の部員数は1、2年生合わせての計50名で、月、水、金、土の週4日練習に励んでいます。顧問には従来からの井原先生に加え、小林が昨年度より参加させていただいています。

昨年夏の新人大大会では、団体戦で悲願のベスト4入り、3位入賞を果たし、初の関東大会に進出することができました。関東大会では二回戦で東京の学校に敗退しましたが、関東のレベルに実際に触れて刺激を受けた部員たちは、春の学総での関東進出を目標にするようになりました。

部員達のほとんどが中学からテニスを始めた初心者なので、基本的なことを大切に、お互いに教え合い、切磋琢磨しながら晴れの日も雨の日も練習を重ねてきました。

春休みは、震災の影響でまったく部活動を行えなかったため、中3最後の個人戦は全体的に思わしくない結果でしたが、「団体戦で勝とう」とを合言葉に、大会までの限られた練習時間に集中して頑張りました。

2、3年生の絆の深まりに大勢の新生生の加入が力となり、6月の県大会は、目標であった関東大会は果たせなかったものの、3位入賞という嬉しい結果となりました。3年生は引退しましたが、後輩たちがその志を引き継いでいくと願っています。

(顧問/小林由紀子)

## ラグビー部

卒業生のみなさま、こんにちは。ラグビー部の活動について報告させていただきます。

ラグビー部は高校生38名(高一/11名、高二/9名、高三/13名、マネージャー5名)と中学生13名とで活動しております。

創部以来、依田先生が顧問をしてくださっていましたが、現在は5期卒業生の小平と13期卒業生の櫻井の2名で顧問をさせていただいております。我々顧問が卒業生ということもあり、相変わらず獨協らしく生徒たち主体の活動に変わりはありません。

そのような中で、卒業生の方々のお力添えや応援を頂きながら、ようやく少しずつ結果も出せるようになってまいりました。

今年度の成績は新人戦県6位、関東大会県予選ベスト8、国体予選県大会5位という創部以来最高の成績をあげることができました。また国体の県代表候補にも3名選出されるなど有望な選手も出てきております。ご存知の通り、スポーツ推薦などで選手を集めることのできない中で、現役員達には、今後も県の上位を目指して頑張ってもらいたいと願っています。引き続き、卒業生のお力をお借りできれば幸いです。よろしく、お願いいたします。

(顧問) 櫻井広仁 13期生

## 硬式野球部

野球部は現在3年生15名、2年生10名、1年生18名の43名で活動しております。

昨年の秋季東部地区大会では、初戦の八潮南高校に10対3で勝利。地区代表決定戦で草加南高校に延長12回3対2のサヨナラ勝ちを収め、6年ぶりの県大会出場を果たしました。

秋季県大会では朝霞高校に2対3で惜しくも敗れましたが、選手にとって良い経験となりました。

3月11日の大震災以降、部活動は停止となり、春季大会は満足な準備ができないままに臨むこととなりました。結果は東部地区1回戦で杉戸高校に敗退。非常に悔しい結果となりました。この敗戦をバネに、夏の甲子園を目指し練習に励んでおります。これからも野球部を応援していただけたらと思います。よろしくお願い致します。

(顧問) 木暮大樹



### 結果報告

●全国高等学校野球選手権大会	埼玉県大会
二回戦 対 草加南	5-4で勝利(延長10回)
三回戦 対 武南	0-7で敗戦

## 吹奏楽部

ウイーンサルツブルクミッドヨーロッパ音楽祭

吹奏楽部は昨々が現役、今年が卒業生と2年連続でオーストリアに遠征した。ミッドヨーロッパ音楽祭に出演のために、サルツブルクやウイーンも訪問した。メンバー達は日本人としての品格をそなえ、地元の人達をはじめ世界中から集まった音楽祭関係者に深い感銘を与えた。ところで、音楽という芸術は音が消えてしま

うと存在しない儂いもので、昔から最上級の音楽はひっそりと行われていました。獨協埼玉の演奏はまさにそのようなもので、高ぶる事無く、自慢げでも無く、それでいて深い心のある解釈に裏打ちされた演奏で音楽の本場だからこそ通用するものであった。ウイーンフィルの国で認められた事が何よりも嬉しかった。帰国してからのメンバー達も口数少なく、声高に語るものはいなかった。そこに吹奏楽部の真骨頂があると思う。

今年の卒業生達のバンドも美しい正装で落ち着いた音楽が演奏され、客席からため息がもれた程であった。どの演奏会も素晴らしいが、特に教会での演奏は凛としたものでCDを所望されるほどの名演であった。メンバー達も終わつてみると泣きながらの演奏であった。

昨年に続くウイーンのエントゥン宮殿での公演はジャズトリオからモーツァルトのフルートやクラリネットの協奏曲まである曲目で、獨協埼玉の名を高めたと信じている。現役は「音楽学校ですか」と宮殿の方に聞かれたくらいサウンドでウイーン市から表彰状を頂いたが、そのおかげで卒業生達はウイーンフィルと同じ中庭側で演奏ができた。あまりの美しさにメンバー達から歓声があがったことを記憶している。



こんなにも見事な日本人を生み出す獨協埼玉に誇りを感じずにはいられない。尚、今年もたくさんの表彰状を頂いた事を報告しておきます。

## 囲碁将棋同好会

囲碁将棋同好会は、15年ほど前に設立された。高島教諭が初代顧問、その後を依田が引き継いで今日に到っている。

少数のメンバーではあるが、皆将棋と囲碁が大好きで、授業が終わると、一目散に練習場である書道室に集まってくる。最初は下手であっても、仲間と指すことにより、どんどん技術が向上し、二年たつとそれなりの腕前となっている。

特に女子部門では埼玉県の代表として連続6年全国大会に出場している。男子部員も昨年は県で準優勝するなど活躍している。今年もA級(県のトップ32)に2人属している。

顧問の私も部員と共に腕を磨かなくてはと思ひ、生徒と懸命に指している。諸度王の川瀬先生(五段)が技術指導してくれるもの大きい。

(顧問) 依田善朗



# まほろばの会 27期

## 報告

2011年2月12日、今年成人を迎えた133名もの獨協埼玉高校27期生が母校に集まった。お世話になった先生との再会。



久しぶりに交わす友との会話。2年前まで当たり前だった母校での生活がこの日はかりは、特別であった。卒業して2年が経ち、僕らの生きている環境は一人一人変化したが、高校生の時に身近に感じた先生との距離感は今でも変わらない。そんないつもと変わらない距離感の中で、まほろばの会は開催された。

1時間半という短い時間の中、お茶をしながら先生との談笑、プレゼント贈呈、先生からメッセージをいただくなど、とても有意義な時間を過ごすことができた。

20歳という人生の節目に母校に戻る。卒業した今も、僕らを母校へ迎え入れてくれる環境があるのは、獨協埼玉高校の一番の魅力である。

また、まほろばの会を後輩に伝

達し、継承していくのも先輩である僕らの役目でもあり、先生方の思いに込める最善の手段だと自覚している。28期の卒業生へと受け継ぐ使命を感じながらも、まずは集まってくれた卒業生とお世話になった先生方に感謝したい。ありがとうございました。

27期まほろばの会実行委員一同

## 案内 28期生「まほろばの会」開催について

28期生の同窓会幹事と協議の結果、2012年2月18日(土)午後の開催で、話を進めていくこととしました。秋には各クラスの代表を決めて、クラスへの呼びかけを行っていきます。みんなの20歳を祝う会でもありますので、28期生の多くが参加してくれることを念願しています。先生の代表は小平先生です。ご協力、よろしくお願いいたします。

(28期生幹事代表 榊原啓太)

## 教育実習を終えて

●藤寄千華  
生徒達との関わりを通して、本当にたくさんのお話を学んだ。私が中高生だった頃には分からなかった、教師としての大変さを実感し、教師を目指す為により一層気が引き締まった。教師という仕事は何よりも未来を担う子供たちの成長に関わることができると。こんなに素晴らしい事、他にないだろう。他にはない苦勞もあるが、何より教える事の面白さに気付いてしまったら、どんな事も乗り越えて行ける。そんな強い心を持ってと思った。教師と教師、生徒と教師、学校にはそんな、たくさんさんの「絆」が詰まっていると思う。「絆」を大切に、その大切さを伝えることのできる教師になりたい。

●平井隆介  
今回の教育実習を一言で形容するのは大変難しい。あつという間に過ぎ去ってしまった。本当に目の回るような三週間であったが、目は回っても伝えたいことは見失わなかった。体重も八キロ減ったがそげた肉の分だけ成長できたと思っている。艱難辛苦をなめ、紆余曲折をへたが、自分は誰よりも教員に向いているのだという自信を持った教育実習となった。様々な人の支えに感謝したい。

●門井佑介  
実習中は生徒達と本気で触れ合いました。そして、教える立場にもかかわらず、たくさんのお話を教わりました。その中で見えてきたのが生徒達がつけている無限の可能性です。この可能性を生かすために獨協埼玉の先生方は情熱を持って私達、実習生の指導にあってくれました。私を成長させてくれた生徒達とご指導してくれました先生方に本当に感謝しています。私の初めての生徒達、指導をしてくれた先生方に恩返しをするために近い未来、授業で勝負のできる教員になり報告に来たいと思います。

●矢島知佳  
実習中に見ることのできた生徒たちの目の輝きを私は忘れられません。私は、英語を苦手とする生徒の多い中で、苦意思識を軽減させたい、と願い実習に臨みました。そして授業を担当させて頂く上で、多くの先生方の助言のおかげで教壇に立つことができた、感謝しています。自分自身では気づけずいた部分も生徒の立場、また、指導者の視点から助言を頂き、今後の私の糧となりました。生徒から、先生と呼んでいただき、親しんでもらった3週間は、生徒から体育祭当日に頂いたクラスTシャツと同様、一生の宝物です。



# INFORMATION

## 第32回 蛙鳴祭

9月24日<sup>土</sup>・25日<sup>日</sup>  
10:00~15:00

今年度の蛙鳴祭テーマは「飛翔」です。高校3年2組と高校3年7組から提案され、生徒たちの「発展・成長の願いを込めて」、「日本が暗くなっている今こそ飛び立とうという気持ち」が込められたテーマです。

### 蛙鳴祭ステージ タイムテーブル

第一体育館	9月24日 <sup>土</sup>	9月25日 <sup>日</sup>
10:10~11:05	高校演劇	
11:15~11:55	中学演劇	
12:00~12:30	ギリシャ演劇 (高校3年1組)	
12:35~13:05	ソングリーディング部	
13:05~13:50	コーラス部	
13:50~15:10	吹奏楽部	

### 入試ミニ説明会

中学

9月24日<sup>土</sup> 13:00~14:30

高校

9月25日<sup>日</sup> 13:00~14:30

### 中学入試

- ◆入試 第一回 1月12日<sup>木</sup>
- 第二回 1月18日<sup>水</sup>
- 第三回 2月2日<sup>木</sup>

※第三回入試は本校と川口会場で実施します。

### ◆学校説明会

- 第一回 10月9日<sup>日</sup> 10:00~
- 第二回 10月30日<sup>日</sup> 10:00~
- 第三回 11月27日<sup>日</sup> 10:00~
- 第四回 12月10日<sup>土</sup> 14:00~

- ◆募集 男女160名

### 高校入試

- ◆入試 第一回 1月22日<sup>日</sup>
- 第二回 1月23日<sup>月</sup>

### ◆学校説明会

- 第一回 10月9日<sup>日</sup> 14:00~
- 第二回 10月30日<sup>日</sup> 14:00~
- 第三回 11月27日<sup>日</sup> 14:00~

- ◆募集 男女160名

※詳細は本校HPでご確認ください。

# 入試



### 同窓会役員人事紹介 (括弧内数字は卒業期)

#### 幹事

高橋 全本 (25)	須藤 幸美 (25)	森 大史 (24)	安部 沙友里 (23)	高橋 菜月 (22)	佐藤 唯 (22)	村上 友紀 (22)	加藤 友紀 (21)	丸川 怜子 (21)	五十嵐 玄 (21)	山口 麻里 (20)	村上 惠理 (19)	坂本 育美 (18)	関 淳一郎 (18)	佐藤 英起 (17)	仲田 和之 (16)	深瀬 清貴 (16)	小黒 廣仁 (16)	永井 清貴 (15)	櫻井 広仁 (13)	金久保佳代 (12)	岡崎 陽子 (10)	成瀬 博文 (9)	川島 信也 (8)	井上 友子 (8)	瀬戸 友子 (8)	小久保博文 (6)	森脇 能男 (5)	橋本 裕正 (4)	橋本 裕正 (4)	桑島 優紀 (3)	桑島 優紀 (3)	増田 浩一 (2)	高橋 洋司 (1)	杉崎 良樹 (1)	片桐 岳岳 (1)			
睦美 (25)	幸美 (25)	大史 (24)	沙友里 (23)	菜月 (22)	唯 (22)	友紀 (22)	友紀 (21)	怜子 (21)	玄 (21)	麻里 (20)	惠理 (19)	育美 (18)	淳一郎 (18)	英起 (17)	和之 (16)	清貴 (16)	廣仁 (16)	清貴 (15)	広仁 (13)	佳代 (12)	陽子 (10)	博文 (9)	信也 (8)	友子 (8)	友子 (8)	博文 (6)	能男 (5)	裕正 (4)	裕正 (4)	優紀 (3)	優紀 (3)	浩一 (2)	洋司 (1)	良樹 (1)	岳岳 (1)			
矢内 早紀 (29)	早健太郎 (29)	中村 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)	田畑 千佳 (29)

#### 事務局

◆事務局総務長 高田 晶子 (10)

#### 理事

◆副会長 玉山 栄一 (3)

◆会計監査 永島 直樹 (7)

◆理事 酒井 健次 (13)

◆理事 竹内 友洋 (19)

◆理事 梨本 佳世 (19)

◆理事 友野 行晴 (19)

◆理事 宗像 さやか (19)

### 同窓会からのお願い

- ① 同窓会運営に関するご意見がありましたら、上記の理事・事務局・幹事までご連絡ください。またできる限り、総会に出席していただき、その場で意見を寄せたいだけは大歓迎です。よろしくお願いいたします。
- ② 住所などで変更がございましたら、獨協埼玉高等学校同窓会までお知らせください。
- ③ 同窓会は、同窓会活動を遂行する上で取らせていただいた皆様様の個人情報保護に保護し、会報・同窓会が主催協力する行事等の開催案内の送付・学校に保有する卒業生データベースの補完のための情報提供に、これらの情報を利用します。
- ④ 同窓会名簿の更新につきましては、個人情報保護の観点から、具体的な更新日時を決定しておりません。あらかじめご了承ください。

※なお、情報の提供に同意されない方は、事務局まで届け出ください。

※最近、同窓会を名乗り、電話で個人情報聞き出すという悪質な団体があるようです。本同窓会では、電話での問い合わせは一切しておりませんので、ご注意ください。

### 会費納入のお願い

平成11年度の卒業生より、同窓会会則に従い卒業年度に、終身会費を納めていただくことになりました。つきましては、既に卒業された同窓生にも終身会費1万円を納入していただきます。納入票を同封させていただきます。同窓会の運営資金となります。趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

※既にお振込みいただいた方には振込用紙は封入されていません。

獨協埼玉高校  
同窓会連絡先

〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316 TEL048-977-5441 FAX048-977-2031  
e-mail:dosokai@dokkyo-saitama.ed.jp URL http://www.dokkyo-saitama.ed.jp/

## 7期生 ホームカミングデー報告

ホームカミングデーが始まって7年目となり、卒業生の中でも徐々に浸透しつつある中、平成元年卒7期生も当日は楽しい時間を過ごすことができました。

開催にあたり、山田(旧姓)さん、油井さん、岩上さんを始め準備段階から多くの方に支えられ、最初の段階では参加人数の心配もありましたが、会には70名という多くの参加者が集まり、昔話に花を咲かせていました。また、当時担任の先生方も参加して下さりさらに会を盛り上げて下さいました。皆様にはこの場を借りまして感謝申し上げます。

参加された方はもちろん、当日都合がつかず参加できなかった方もまた同窓会という形で会を設けさらに絆を深めていきたいと思っております。

(7期生 酒井直樹)



### 〈収支報告〉

(収入)	(支出)	(残金)
¥2,000円×70人	飲食代 ¥71,272	¥34,946
＝¥140,000	通信費 ¥14,000	※残金はまほろばの会に
計 ¥140,000	文具代 ¥882	寄付させていただきます。
	お花代 ¥18,900	
	計 ¥105,054	

## 40歳になったら学校へ行こう!

### 8期生ホームカミングデーのお知らせ

今年40歳を迎える(もう迎えた)8期生の皆さん、ホームカミングデーがこの秋に開催されます。

高校を卒業して22年。卒業後、中学校が設立され、新しい体育館ができ、女子の制服はガラリと変わりました。でも「正門に入って感じる伸びやかな空気」は今も当時のままです。

2度目の成人式となる40歳の今年、久しぶりに母校を訪ねてみませんか?お世話になった当時の担任の先生方や同級生たちと、クラス、部活、行事など、いろいろな話に花を咲かせましょう。一人でも多くの参加をお待ちしております。



日時/2011年10月15日(土)

- 一次会/受付14:00 開会14:30  
獨協埼玉中学高等学校 中学棟小ホール
- 二次会/18:00頃～  
せんげん台駅周辺のお店で懇親会(詳細は後日ホームページにて)

お子様連れの  
ご参加もOKです

実行委員/水口将互 仁部武士 茂木研二 藤居裕士 中村康宏  
古澤(小野)あゆみ 貫井(加藤)立子 斉藤(松林)桂 坂本規子 瀬戸てるみ

出席・欠席の連絡/同封の返信用はがきにて8月末日までにご返送ください。

## 蛙鳴祭 タイムカプセル



### 20年の時をこえ...

1990年9月30日、蛙鳴祭2日目の夕方...。9・10・11期生(平成3・4・5年卒)がそれぞれの思いを込めた手紙を入れた「タイムカプセル」が、当時の生徒会のメンバーにより、校庭の片隅に埋められました。

そして、10年後、掘り起こした同じ穴に、19・20・21期生(平成13・14・15年卒)が「タイムカプセル」を埋め、蛙鳴祭(2010年

9月18日)で掘り起こし、懐かしい手紙を卒業生に郵送しました。

そして、最初のタイムカプセルから20年の時をこえ、2011年11月に、29期生(平成23年卒)、そして、現在、在学している生徒たちが「タイムカプセル」を埋めました。このタイムカプセルは10年後の蛙鳴祭で掘り起こす予定です。友だちに書いてもらったメッセージ、写真...など、思い思いの手紙と10年後の再会を楽しみにして...です。